



## 九都県市合同防災訓練

第43回九都県市合同防災訓練(千葉会場)3年ぶりに開催されました。白里海岸駐車場でこのライフライン応急復旧訓練はてきばきと海上と合わせて圧感、訓練の大切さをあらためて思い知らされました。他の会場も同じ大切な訓練実施されました。

秋晴れの良い天気恵まれ、滞り無く開催されてよかったです。

白里海岸で退場する際に車椅子で見学されていた方が私に手を振ってくださいました。

車椅子の私が訓練側にいることも自然で当たり前を目指して日々精進を誓います。



## 市議会第4回定例会

令和4年11月17日

### 1. 下水道について

#### (1) 大網白里市污水处理構想(案)について

- ① 污水处理施設の統廃合について
- ② 千葉県が示す最終污水处理人口割合の本市の見通しについて

#### (2) 雨水対策について

### 2. 移住・定住について

#### (1) 空き家について

- ① 空き家バンクの登録者(移住希望者)について
- ② 市内の家屋総数と、その内の空き家件数について
- ③ 空き家の担当課について

#### (2) 移住に関する助成金について

- ① 国の「空き家対策総合支援事業」について
- ② 移住に関する助成金の創設について



## 大網白里市産業文化祭



大網高等学校のジャム

3年ぶりの産業文化祭、産業の部 アリーナ会場市民の方々、出店する方々待ちに待ったお祭りに縮小されても賑わいは、やっぱりいいですね。

二十数年来私も出店に携わり、今日のイベントの喜びは格別なものでした。

主催の大網白里市 産業文化祭実行委員会の皆様感謝とお疲れ様でした。

林さき子後援会事務所

〒299-3251 千葉県大網白里市大網103-2

平日・土曜日 9:00~16:00 (土曜日は不定期)

0475-71-2778 / 0475-71-2771 (FAX)

hayashi.sakiko.ooami@gmail.com (メール)





## 令和4年大網白里市議会 第4回定例会議会報告

林 さき子

### 市民の声を届け誰もが楽しく暮らせる豊かなまちづくりの実践！

#### 1. 下水道について

##### (1) 大網白里市汚水適正処理構想(案)について

###### ① 汚水適正処理施設の統廃合について

本市の下水道事業の「汚水適正処理構想(案)」がパブリックコメントを経て作成されましたが、国・千葉県の方針に基づき見直しが行われたと示しています。

公共用下水道、農業用集落排水、コミュニティプラント(小規模処理施設)、合併処理浄化槽の整備予定区域及び整備計画、効率化を推進するため統廃合を踏まえた計画が追加されたとも示してありました。

20 数年前には、公共下水道を利用せず、農業集落排水施設やコミュニティプラント施設を建設することを選択したにも関わらず、現在は統合が適切である可能性があるのは何故でしょうか。

答 農業集落排水施設及びコミュニティプラント施設の供用開始後 20 年以上が経過し、両污水处理施設が改築更新の時期を迎えることから、「改築更新による個別事業の継続」と「污水处理施設の統廃合による事業間連携」の 2 点について比較いたしました。その結果、統廃合では公共下水道に接続するための管渠布設費用が発生するものの、スケールメリットにより今後の維持管理費が抑制され、農業集落排水及びコミュニティプラントに係る改築更新費用が大幅に削減されるなど、経済的に有利と判断されたことから、污水处理施設の統廃合を進めることとしたものです。

汚水適正処理施設の統廃合とは、農業用集落排水及びコミュニティプラントを廃止し、公共下水道へ統合した方が経済的ということですね。

###### ② 千葉県が示す最終污水处理人口割合の本市の見通しについて

本市による最終污水处理人口目標は、合併処理浄化槽の普及にも大きく影響されると思われ普及促進について伺います。

答 公共下水道における下水道整備状況ですが、事業計画区域 597.1 ヘクタールの内、524.1 ヘクタールの整備を進め、令和 3 年度末時点の整備率は 87.8%となっております。なお、農業集落排水及びコミュニティプラントにつきましては、すでに整備が完了しております。

本市では、環境基本計画に基づき、単独浄化槽及び汲取り槽から合併浄化槽への転換を進めております。環境基本計画では、令和 2 年度から令和 6 年度の 5 カ年において 75 基の転換を目標としております。

この目標の達成のため、国の循環型社会形成推進交付金及び千葉県の生活排水対策浄化槽推進事業補助金を活用し、補助金を交付することで合併浄化槽への転換を促進しているところでございます。

県の要求は、処理施設手法ごとの普及率ではなく、全体の污水处理人口普及率を上げて、未処理の汚水を減らすことだと思います。現在、全体の污水处理人口普及率は、令和 6 年目標の 89.1%を達成しているのですね。そして最終目標の 100%に向けて進んでいるということですね。

###### (2) 雨水対策について

先の大雨・台風被害より、本市でも住宅地に雨水が深く溜まり、日常生活に影響が出ました。



また、増穂地区のアリーナ付近の住宅地で

は、アリーナ建設時に道路を高く補装したため、なお一層住宅地に雨水が溜まり、数日間もの間なかなか水も引かず、日常生活にも悪影響を及ぼすので、早急な雨水対策を望む声が聞かれています。

本市全体の雨水対策の現状と進捗があればお聞かせください。

答 市で実施しております雨水対策につきましては、市道の道路側溝の整備と幹線排水路の整備を実施し、排水不良箇所の改善に取り組んでいる

ところでございます。

現在の整備箇所でございますが、道路側溝につきましては、上谷新田及び南横川2地区において実施しており、幹線排水路は、北今泉、下ヶ傍示、柳橋、清名幸谷、駒込の5地区で整備を進めているところでございます。

今後の予定といたしましては、現在実施している道路側溝及び幹線排水路の整備を継続的に進めることで、浸水被害の軽減や生活環境の向上に努めてまいります。

2019年台風・大雨の被害により防災・雨水対策もさらに強化を図り難儀な案件ともなりました。

30年40年前に大網白里市を選んで住まれた市民の中には宅地上雨水がたまるストレスがさらに増しました。

また、そのような案件が増えたことは、市でも熟知されていることと存じます。やはり、横の連携、各課共通の重点課題として検討を重ねて頂き、決まり事も打破に近く検討し、活路を見出す案で対策を図られます様希望いたします。

## 2. 移住・定住について

成果を上げている桐生市の移住・定住施策を行政視察して、本市の施策についてあらためて質問します。

### (1) 空き家について 伺います。

① 空き家バンクを利用して物件を探していて、市外にお住まいの方



は移住を検討しているということですよ。空き家バンクの利用登録者(移住希望者)は何件ですか。答 空き家の利用を希望される登録者の数は、令和4年10月末現在で7件であり、そのうち市外から登録のあった5件分が、移住目的によるものと思われま。

② 市内の家屋総数及び、その内の空き家件数は何件ですか。また、特定空き家の件数と特定空き家指定候補は何件ですか。

答 本市の家屋総数につきましては、税務課の家屋台帳における居宅用家屋の数によると、令和4年1月1日現在で約22,000件となっております。

また、本市の空き家件数につきましては、平成30年度の総務省の住宅土地統計調査によりますと、賃貸や売却目的等の住宅を除き1,930件となっております。

令和4年10月末時点におきましては、市内において特定空き家及び特定空き家指定候補はございません。

③ 空き家には、空き家バンクの他に管理不全の

対応、活用に関する対応、課税に関する対応など様々な対応が必要と思われまますが、どの課がどんな担当ですか。

答 空き家の管理に関する対応につきましては、大網白里市まちをきれいにする条例に基づき地域づくり課が空き家所有者へ改善の依頼など対応しているところでございます。また、空き家に関する利活用につきましては、地域づくり課にて、空き家バンク制度を実施しております。

特定空き家に指定された場合、固定資産税の住宅用地に対する課税標準の特例措置が外されることから、地域づくり課から税務課へ情報提供を行い、税務課から固定資産税の通知を空き家所有者へ行うこととなります。

空き家は、そのまま何もしなければ、いずれ市にとって負の財産になってしまいます。活用でき、それが移住に繋がるなら、有用な財産になります。桐生市では、空き家の対応を“定住促進室”に統一し、定住促進に繋げています。本市でも参考にすべきではないでしょうか。市長、検討よろしくお願いたします。

### (2) 移住に関する助成金について

財政がひっ迫しているのは、周知の事実です。しかし、このまま人口減少が進めば負のスパイラルに陥ることは明白です。人口減少を歯止めする為の移住政策への投資は必須であります。

#### ① 国の「空き家対策総合支援事業」について

空き家対策総合支援事業は、国土交通省の「空家等対策の推進に関する特別措置法」(平成27年施行)における財政面での支援措置の一つです。本市ではどの様に活用しますか。

答 国の制度として、空き家対策総合支援事業が創設され、空き家及び不良住宅を除却(取り壊し)や活用するにあたり、関連事業など総合的な空き家対策に取り組む際、市町村に補助金を交付するなどの支援策があります。

この空き家対策総合支援事業を活用するためには、空き家等対策計画に定められた地区における事業であることなど一定の条件を満たす必要があります。このことから、現在進めております空き家の実態調査完了後に、空き家等対策協議会を設置し、空き家等対策計画の策定したうえで、各支援策に取り組んでまいりる考えでおります。

調査・準備を進められているということですね。この事業を活用すると、国からの補助金と同程度、又はそれ以上の負担が市に発生することになりますが、市長、その覚悟で進めていただけるのですね。ありがとうございます、市長にうなずいて頂きました。

## ② 移住に関する助成金の創設について

6月の市長の答弁ではPRが主な政策ということでした。桐生市での助成金以外の施策は本市と何ら変わりありません。桐生市の成功例を見ると「助成金」が移住者への最大のPRであり、移住希望者の関心であると確信しました。



桐生市の助成金を紹介します。

- ・住宅取得応援助成:最大 200 万円
- ・空き家利活用助成:最大 70 万円
- ・住宅リフォーム助成:最大 20 万円
- ・空き家除去助成:条件により 30、50、100 万円
- ・空き店舗の活用:最大 120 万円

桐生市では、すでに好循環が起こっています。現在施行されている助成金などで十分なPRができており、予算上限に到達してしまっているため、助成金額を下げることで実施件数を増やすことが検討されています。

人口減少を歯止めする為の移住政策への投資について伺います。

答 現在、本市では、移住・定住促進のための施策として、待機児童の解消に向けた取り組みや、学童保育や放課後子ども教室を市内すべての学校で実施しているほか、「子育て支援館」や、「子育て交流センター」の整備など、子育て環境の一層の充実を図っているところでございます。

また、本年度におきましては、少子化対策の推進及び若い世代の移住・定住を促進するため、新たに「結婚新生活支援事業」を実施しておりますが、10月末時点で10件の相談に対し、交付決定済が2件のほか、事前相談の状況から3件が補助要件に該当するものと考えております。

このような状況から、引き続き当該支援事業をPRするとともに、移住に関する助成金の創設につきましても、移住・定住に向けた各種の施策を推進する先進自治体の取り組みを研究いたしまして、本市の実情に応じた施策の検討をしております。

結婚新生活支援事業については、いろいろな条件はありますが、大変良い事業だと思います。しかし、これは大網白里市の市民に向けた助成金といった傾向が強いのではないのでしょうか。移住を検討されている方が新婚の場合に限られ、一般の移住支援政策とは言いがたいです。残念ながら、移住関連のネットサイトや雑誌には取り上げてもらえないのではないでしょう。一般の移住検討者に対して、インパクトのある助成金でPRが必要だと

おもいます。検討をよろしくお願ひいたします。また、PRについてですが、一般の移住情報比較サイトには、移住支援制度(各種補助金)を紹介しているサイトがあります。私が検索した範囲ですが、移住に積極的な自治体では、各種移住支援制度が紹介されています。しかし、残念ながら大網白里市のページには、市の基本的な情報のみで、移住支援制度の紹介は見つかりませんでした。市のホームページ内の定住促進ページには、

- ・大網白里市空き家バンク制度
- ・結婚新生活支援事業補助金制度
- ・子ども医療費助成制度
- ・学校給食費補助制度
- ・出産祝金制度

の項目が紹介されています。一般の移住情報比較サイトにもこういった情報を紹介していくことが、市のPRとなるのではないのでしょうか。

前回、令和4年第3回定例市議会にての私の一般質問で「市有バスについての質問」をさせていただきました。

その内の研修目的地は、千葉県内と制約されていて研修そのものも阻まれた感があると発言いたしました。

その後千葉県以外にも都市部、他縣市町村の研修目的地に制約はないことがわかりました。私の認識不足から担当地域づくり課にご迷惑をおかけしました。

申し訳ありませんが、この場をお借りして、間違いは間違いとして訂正させていただきます。

さて、本年度も市民の声をくまなく市議会に届け、「誰もが楽しく暮らせるまちづくり」を目指して参りました。

その中である市民の悲痛な声がありました。市民の方がある決められた時間の所用で市役所に訪れ、事前に聞いた時間に行きましたがまだ開始されておらず、時間の間違いを指摘すると「言うってません」とシャットアウトされた対応になり、どうにも収まらない憤りを感じてしまったとのことでした。その後落ち通いたら、市役所は普段は行かないところなので、市役所の方が正しいとの感もあるけれど、行かないところだからこそ「一呼吸置いた窓口対応」をしてほしいとのことでした。

また、窓口対応が以前よりすごく良くなったことは承知していますとおっしゃっていました。市長に申し上げます。

このような市民の細かい声ですが、市民の声をくまなく逃さず聴き、大網白里市を選んで住んでくださった市民もたくさんおりますので市政に反映していただければ幸いです。